



板倉 克典 議員
日本共産党弥富市議団

問 コロナ禍後の図書館サービスは

答 廃棄してきた本の無料配布など

問 コロナ禍の収束後、どのように図書館サービスを充実させてきたか。

答 **教育部長** おはなしの会、よつば読書会、保存年限の経過した雑誌の無料配布を再開し、廃棄してきた

図書^①の無料配布を始めた。
問 図書館閉館期間中、他の場所貸し出し業務を行う予定は。

答 予約による貸出しを検討する。新聞、雑誌は2階のフリースペースでの利用を検討している。

問 十四山支所内に第2図書館設置の考えは。

答 考えていない。
問 図書館以外の部署で図書館司書資格を持っている職員はいるか。

答 有資格者は3人。
問 図書館協議会を設置する考えは。

答 社会教育委員会で行っているので、考えていない。

問 第二次弥富市子ども読書活動推進計画の考えは。

答 改訂作業を進めており、令和7年度末の作成を目指す。

問 閉校となる十四山中の図書室の本はどこへいくか。

答 弥富中の蔵書確認を行い、活用できる蔵書を移管する。その他の蔵書は他の小中学校で活用していく。

問 図書館アンケートをどう活かす

答 親しみやすい館内空間を目指す

問 まちなか交流館前に植栽されているケヤキは切る計画か。

答 **総務部長** 撤去する計画。



▲開館当時のケヤキ

問 3階の市民ホールからの振動や音の対策をこの改修時に行うか。

答 現在、運営上支障が出る行為の制限しており、振動や音の問題はない。

問 ブックカートやカゴを設置する考えは。

答 **教育部長** 子育て世代や高齢者等の利便性を図るため検討している。

問 図書館改修に合わせ、指定管理者制度の採用を考えているか。

答 図書館だけを指定管理にすることのメリットが小さいことから、考えていない。

問 「魅力的な図書館づくり」アンケートを改修後の運営にどう活かすか。

答 陳列順序を50音順に見直すことや、児童書の配列の見直しなど、親しみやすい館内空間を目指す。

問 まちなか交流館、図書館の大規模改修にかける思いを。

答 **教育長** 全ての世代の人にとって、居心地のよい図書館になるよう整備していく。



▲ブックカート